

平成三十一年度一般選抜学力検査問題

国語

(一時間目 六十分)

注意

- 一 問題用紙と解答用紙、メモ用紙のそれぞれの決められた欄に、受検番号と氏名を記入しなさい。
- 二 問題用紙は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 三 問題は1ページから6ページまであります。これとは別に解答用紙とメモ用紙がそれぞれ一枚あります。
- 四 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号
氏名

一 「聞くこと」に関する検査

二 次の文章を読んで、1～5の問いに答えなさい。

---



三 次の文章を読んで、1～5の問いに答えなさい。なお、設問の都合で本文の段落に①～⑧の番号を付けている。

---

四 次の文章を読んで、1～4の問いに答えなさい。

私たちは、普段、様々な言葉を使って生活している。会話の中で相手が使った何気ない言葉によって、うれしくなったり不安になったりする<sup>①</sup>ことがある。使い方によっては交友関係が親密になることもあれば、疎遠になることもある。言葉は、私たちの心情から人間関係に至るまで、大きく影響を及ぼしている<sup>②</sup>。

また、ある人が、発した言葉一語によって他からソンケイ<sup>③</sup>のまなざしで見られた場面、逆に、非難をアびた場面を見たことがある。わずか一語で、その人自身が評価されてしまったのである<sup>④</sup>。

このように考えると、言葉には力があり、その果たす役割は大きいと言える。私たちは、常にこのことを意識し、言葉を吟味しながら使っていく必要がある。

1 親密<sup>①</sup> 及ぼし<sup>②</sup> の読み仮名を書きなさい。

ソ<sup>③</sup>ンケイ ア<sup>④</sup>び を漢字に直して書きなさい。

2 うれしくなったり不安になっ<sup>①</sup>たりする とあるが、これと同じ

意味の四字熟語を、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

ア 優柔不断      イ 一喜一憂

ウ 朝三暮四      エ 意気消沈

3 ある<sup>①</sup>と同じ品詞の言葉を、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

ア かなり      イ 走る      ウ 小さな      エ 無い

4 意識<sup>①</sup>の活用形を書きなさい。

五 次の文章は「無名草子」の一節で、ある女性が小野小町について批評している部分である。これを読んで、1〜4の問いに答えなさい。

色を好み、歌を詠む者、昔より多からめど、小野小町こそ、(趣) (昔から多くてしょうけれど)

め、容貌も、もてなし、心遣ひよりはじめ、何事も、いみじかり(容) (すばらしかった)

① けむとおぼゆれ。(さう)

I 色見えて移ろふものは世の中の人の心の花にぞありける(色が見えないで)

II 侘びぬれば身をうき草の根を絶えて誘ふ水あらば往なむとぞ思ふ

III 思ひつつ寝ればや人の見えつらむ夢と知りせば覚めざらましを(覚めないでいたでしように)

と詠みたるも、女の歌はかやうにこそとおぼえて、そぞろに涙ぐ(こうであるべき) (わけもなく)

ましくこそ。

1 けむ① 移ろふ② を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

2 IIIの和歌を音読するとき、意味のまとまりから考えて、一か所区切るとしたらどこがふさわしいか。後半部分の始めの三字を抜き書きしなさい。

3 次の文章は、I、II、IIIの和歌の解説文である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

I 「a」の色はあせて移り変わるのがはっきり見えるのに、「b」ことはなかなか捉えられないことを詠んでいる。

II 「うき」は掛詞で、「つらい」と「浮く」という二つの意味が重ねられている。「つらい思いをしているので、誘ってくれる人がいるなら、浮き草の根が切れて流れていくようにどこへでもついていこうと思います」という意味になる。

III 恋人と、夢の中でも一緒にいたいという情熱的な和歌である。しかし、現実には「c」しまったので、恋人の姿が見えなくなったことを悔やんでいる。

(1) 「a」に当てはまる語句を、Iの和歌から抜き書きしなさい。

(2) 「b」「c」に適する内容を、「b」には十字以内で、「c」には六字以内でそれぞれ書きなさい。

4 女の歌はかやうにこそ とあるが、I、II、IIIの和歌に共通する特徴として、最も適切なものを、次のア〜エから一つ選んで記号を書きなさい。

- ア 物事を繊細な感覚で捉えており、しみじみとした趣がある。
- イ 実際の情景を丁寧に描写することにより、躍動感が伝わる。
- ウ 容姿や顔たちなどと同様に、きらびやかな美が感じられる。
- エ 感動で涙ぐむなどの日常の様子を、格調高く表現している。

六 次は二〇三〇～二〇四〇年頃を舞台にした小説に描かれた未来の姿の一部である。a～cから最も実現してほしいものの一つを選び、実現してほしい理由を、後の〈条件〉にしたがって書きなさい。

a 手元にマイ工場

日用品や雑貨などは、データを買って、自宅の3Dプリンタで作製することができる。

b いつでもドクター

家や街に備え付けられたセンサーで健康管理をサポートし、異変があればAIが簡単な診断をしてくれる。

c クルマヒコキー

自動運転の空陸両用タクシーが近距離の輸送手段となり、行き先を告げると、目的地まで送り届けてくれる。

(総務省 未来デザインチーム 小説「新時代家族と分断のはざまをつなぐ新たなキズナ」より作成)

【注】

\*3Dプリンタ……立体を造形するプリンタ

\*AI……人工知能

〈条件〉

- ・ 選んだ記号を「 **a** 」に書くこと
- ・ 自分の生活に関連づけて書くこと
- ・ 字数は二百字以上、二百五十字以内